（別紙4（2））

事業所名:　グループホーム　佃の里

作成日:　令和 8 年 3 月 17 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入居者の真のニーズを把握する上で、その方が発した言葉の記録は重要な情報源となる。現状、介護記録における入居者の言葉の記載は少ないため、必要に応じてその方の発言をそのまま記録することで主観を排除した客観性のある記録となるものと思われる。これにより記録の信頼性が向上し、ケアの質の正当な評価や適切な介護計画策定の根拠となり得るものと思われる。今後は発言時の状況や表情を含めた記録を習慣化し、個別支援に繋げることが期待される。	日々あった内容を出来るだけ細かく書くようにする。 発言やいつもと違うような行動などがあれば記載して変化に気づけるようにしていく。	日誌の内容を徐々に変えて書いていくようにする。	3ヶ月
2		今後は、避難訓練実施日の地域住民への周知や、消防団員である職員の知見や人脈を活かして訓練への地域住民の参加を促すなど、近隣住民との協力体制を具体化させることを期待したい。災害時に備え、地域社会と顔の見える関係を構築し、相互に支援し合える避難体制の確立に期待する。	地域の住民などと一緒に避難訓練を行い災害時に協力し合える関係を作る。	避難訓練などの参加を呼び掛けたり、交流が持てるような行事を行ったりする。	6ヶ月
3		食事提供について、現在は職員体制等により夕食が16時台となる場面が見受けられる。しかし、一般的な生活リズムに照らすと早い時間帯の提供であり、生活の質の観点から課題が残る。今後は人員配置や業務フローを精査し、職員の負担軽減を図りながらも、段階的に食事提供時間を後ろ倒しにするなど検討することが望まれる。	施設で設定している時間に提供するようにしていく。	勤務の時間の検討を行ったり、業務内容を検討したりして決めてある時間に提供するようにしていく。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。